

# ひょうご地域安全まちづくり推進協議会総会議事要旨

日時：平成25年6月10日（月）

13:30～14:15

場所：兵庫県公館 大会議室

## ひょうごさわやかステージ

兵庫県立東灘高等学校空手道部による空手演武

## 総会

### 1 開会あいさつ(会長 井戸敏三兵庫県知事)

東灘高等学校空手部の演武には、大変感動した。

きびきびとした動きと、一糸乱れぬ型のすばらしさ。平成18年の兵庫国体で最初に優勝を飾ってくれたのが女子の空手の型でしたが、そのときの感動が蘇ってきた。

あれだけの意欲を込めて地域の安全に取り組めば、問題はほとんど解決するのではないかと思う意気込みだった。

若い人の意欲に、我々もぜひ、応えていきたいと思う。

ようやく本格的な梅雨を迎えようとするが、地域安全のみならず、水害も心配である。

兵庫県は、平成16年の台風23号、平成21年の台風9号を経験し、相当強くなっているが、起きないに越したことはない。

4月13日の淡路島地震では、淡路市でマグニチュード6.3、震度6弱であり、被害が軽度だと言われても、当然住宅に被害が起きた。

阪神・淡路大震災から18年が経ち、しばらく地震は起きないだろうと思いがちだったが、何が起こるかわからないという警鐘ではないだろうか。

非常袋を今どこに置いているか、ご確認してもらえたらと思う。

後ほど、みなさんにご相談をしようと思うが、尼崎の角田事件では「何だか変だな」と思いながら、確証がないから連絡も通報もしなかったという話が出てきた。

そこで、きちんとした確証がなくても、匿名でも結構なので、電話で情報を伝えていただき、それに対する的確に反応する「ひょうご地域安全SOSキャッチ電話相談」を7月1日から立ち上げ、警察官2名、県2名の4人体制で臨もうとしている。

問題は、情報を入れていただいた後の的確な捌きを、どういう対応をするかであるが、空振りを恐れていると、大切なときに漏れることに繋がるので、空振りを恐れず、情報をいただいたら、それに対してきちんとしたフォローをする、そういう仕掛けを作らせていただき、運用したいと考えている。

これは、みなさんのご協力がないと動いていかないネットワークなので、ぜひご協力をお願いしたい。

防犯カメラについて、いろいろな箇所に設置してもらっているが、ボストンマラソンの不幸な爆破事故の犯人を見つけたのも防犯カメラであり、事後的な対応力がある。

また、防犯カメラに事務的に映ったことで、犯人を特定することも出来ることは、事前の抑止力を持つことにも繋がるので、今後も積極的に市町のみなさんと協力しながら、推進を図っていきたいと考えている。

振り込め詐欺について、最近、私書箱にお金を振り込ませる手口があると聞いたが、振り込むときに私書箱に送るというだけでおかしいと思う。頼まれた本人に連絡を取ればわかるのに、慌ててしまうところに問題がある。

これを防ぐには、地域の中でぜひ情報提供をして、「自分一人で勝手に決めない、必ず相談した上で対応する」と自分なりの行動基準を作ってもらえれば、被害には遭わないと思う。

自分が夢中にならないように、一定の基準を作ることが大切ではないか。

地域の安全は、もちろん警察或いは消防など、プロのみなさんが適切な対応をしてもらうことは基本ではあるが、地域のみなさんが色々な形で活動を展開することが地域の安全力や防災力が増すということに繋がると思うので、今日、地域安全に関係しているみなさまのお力添えを引き続きいただきたいと思う。

今日の総会、よろしくお願いを申し上げます。

## 2 感謝状の贈呈

### 【事務局説明】

協議会に対する支援金について説明。

(会長である知事から兵庫県遊技業協同組合 専務理事 堀尾壽典様に感謝状を贈呈)

## 3 報告

### 【事務局説明】

支援金の受納について総会資料2ページに基づき説明。

地域安全まちづくり推進計画(第3期)の策定について、総会資料3~9ページに基づき説明。

ひょうご地域安全SOSキャッチ事業について、総会資料10,11ページに基づき説明。

#### 4 議事

##### (1) 役員の選任

###### 【事務局説明】

役員の選任について総会資料12ページ「第1号議案」に基づき説明。

副会長にご就任いただいていた倉田前本部長が退任されたことから、新たに

兵庫県警察本部長 塩川 実喜夫 様

に、副会長にご就任いただくとするものである。

任期は会則によって、前任者の残任期間である平成26年6月19日までとなっている。

###### 【議長】(藤原政策部長)

原案のとおりとしてよろしいか。

～ 拍手 ～

###### 【議長】(藤原政策部長)

それでは、原案のとおりとさせていただきます。

(出席された役員を以下のとおり紹介)

###### ・ 副会長

兵庫県警察本部 塩川 実喜夫 本部長

兵庫県連合自治会 岩成 孝 会長

兵庫県連合婦人会 北野 美智子 会長

公益社団法人兵庫県防犯協会連合会

竹田佑一会長代理 三浦 敏行 専務理事

兵庫県町村会長 戸田 善規 会長

###### ・ 監事

兵庫県青少年団体連絡協議会 速水 順一郎 会長

###### 【議長】(藤原政策部長)

役員の皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

##### (2) 平成24年度事業報告及び収支決算について

###### 【事務局説明】

平成24年度事業報告及び収支決算について総会資料14～20ページ「第2号議案」に基づき説明。

###### 【議長】(藤原政策部長)

事務局が決算概要について説明したが、この決算については、速水監事に監査をいただいているので、速水監事に監査報告をお願いする。

###### 【監査報告】

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会の監査の報告をさせてもらう。

去る本年4月18日に、私の事務所のところへ関係書類全てを持って来ていただき、平成24年度ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事業より会計について、厳正なる監査を行った。

その結果、事業は適切に行われており、また会計決算について、諸帳簿その他関係書類を厳正に精査したところ、いずれも適正に処理されていたので、報告する。

(総会資料20ページ参照)

【議長】(藤原政策部長)

平成24年度の事業報告と収支決算であるが、ご質問なりご意見がございましたらお願いします。

【質疑応答】

(なし)

【議長】(藤原政策部長)

原案のとおり承認することよろしいか。

～ 拍手 ～

【議長】(藤原政策部長)

それでは、原案のとおり承認させていただく。

### (3) 平成25年度事業計画及び収支予算について

【事務局説明】

平成25年度事業計画及び収支予算について総会資料21～23ページ「第3号議案」に基づき説明。

#### ・ 23ページ、平成25年度収支予算案について

県の補助金が、昨年度は550,000万円だったが、今年は協議会としてSOSキャッチ事業の広報啓発の実施費用も含め、1,040,000円の補助を受けている。

寄附金については、兵庫県遊技業協同組合様からの1,000,000円である。

支出の部は、総合推進費として2,666,000円を計上している。その内訳は、協議会運営費、研修会費、広報啓発費である。

今年度は、幹事会において「地域安全まちづくりの広報啓発に取り組むべき重要な時期であることから、繰越金を恒常的に残すようなことはせず、もっと活用すべき」とのご意見をいただいたことを踏まえ、予備費を計上せず予算組をさせていただいた。

主な増額経費については、今回の総会を広く関係者に公開し拡充実施するため15万円増額計上している。また、研修費については、連携と交流、地域見守り力の向上をテーマにしたセミナーの拡充実施のため、10万円を増額計上している。また、広報啓発費としては、主にSOSキャッチの啓発、キャンペーンの拡充による経費を増額し、合計2,016,000円を計上している旨を説明。

【議長】(藤原政策部長)

ただいまの説明について、何か御意見、ご質問などありましたらお願いする。

～ 異議なし ～

【質疑応答】

(なし)

【議長】(藤原政策部長)

それでは、平成25年度の事業計画と収支予算について、ご承認をいただいたということによろしいか。

～ 拍手 ～

【議長】(藤原政策部長)

それでは平成25年度事業計画に基づき、事業を実施させていただく。

以上で、本日より予定しておりました議事は終了となるが、この際、議事に関係なく何かご発言があれば、お願いする。

【質疑応答】

(なし)

【議長】(藤原政策部長)

特に御意見等はないようですので、本日の議事はこれをもって終了する。